

感染症分野

研究領域

「開発途上国のニースを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	ブラジルと日本の薬剤耐性を含む真菌感染症診断に関する研究とリファレンス協力体制強化プロジェクト		
研究代表機関	千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野		
相手国	ブラジル連邦共和国	主要相手国 研究機関	サンパウロ州立カンピーナス大学医学部
研究課題の概要			
<p>真菌（カビ）による感染症患者が世界的に急増している中、抗真菌薬に耐性をもつ「耐性真菌」が現在欧州諸国から全世界へと拡大しつつあり、すでに先進国では大きな脅威となっている。その一方、ブラジルを中心とした中南米でもその実態は十分解明されていない状況にある。本研究では、ブラジルのサンパウロ州立カンピーナス大学医学部と連携し、ブラジル及びその周辺諸国における耐性真菌による感染症の実態を明らかにし、途上国における治療戦略を構築することを目的とする。具体的には、電力供給等のインフラが不十分な地域においても耐性真菌の検査が可能な簡便検出法を開発することで、広範囲な実態調査を実施し、また抗真菌薬耐性化のメカニズムの解明にもつなげる。さらに、本研究を通じてブラジルにおける感染症研究拠点とすべくカンピーナス大学の機能強化を行い、ブラジルを中心とした難治感染症研究の地域ネットワークの構築を目指す。</p>			